

能代南中 次代へさらさら発展を 全校一丸新たな気持ちで

能代市能代南中（田崎雅則校長、生徒177人）の創立40年記念式典・同窓会設立記念式典は28日、市文化会館大ホールで行われた。全校生徒や教職員、保護者、来賓らが出席し輝かしい校史を振り返るとともに、今後も同校の発展に尽くしていくことを誓い合った。

創立40年記念式典

同校は昭和59年4月開校。校訓「自立 進取」を掲げ、他者や地域との関わりを通して、自らの将来を考え、愛郷心を育む教育活動に力を入れてきた。学区内に宇宙航空研究開発機構（JAXA）能代ロケット実験場が所在している縁から、講演会や出前授業を開き、生徒たちの宇宙への関心を高めた。また、近年では能代宇宙イベントの企画「県中学生モデルロケット大会」に出場し、昨年まで3大会連続で優勝、このうち元年と4年に全国大会出場を果たしている。

同校の3大自慢に「あいさつ」「掃除」「合唱」を掲げ、学校内外での率先したあいさつ、地域でのクリーンアップ、学校行事「音翔会」での発表にも力を入れている。昨年度末までの卒業生数は3891人。



節目を祝い、出席者全員で校歌を高らかに斉唱（能代市文化会館大ホールで）

田崎校長は式辞で「生徒に向け、本日の式典を契機に、今まで以上に南中生としての誇りを持ち、校訓『自立進取』をさらに意識し、目指す生徒像『自己指導能力を身に付ける生徒』となるよう、仲間と一歩一歩夢や目標に向かって歩んでいきましょう」と呼び掛けた。

来賓の齊藤市長の祝辞に続き、生徒会長の金野暖君（3年）が登場。「私たちが



生徒たちが美しく迫力ある歌声を響かせた「音翔会」

校生は40年をかけて築き上げた学校の良さを確実に後輩たちに伝えていく義務を持つている。新たな気持ちで全校一丸となって進んでいこうと思う」と力強く述べた。

最後は出席者全員で校歌を高らかに斉唱。大きな節目となる50周年に向け、さらには学校を発展させていくことを誓い合った。

能代市能代南中の伝統行事「音翔会」は、創立記念・同窓会設立記念式典に続いて行われ、生徒たちが南中生としての誇りを胸に、美しい歌声を響かせた。

合唱を地域住民に発表する場として、平成10年に始まった。新型コロナウイルス禍の令和3、4年は動画投稿サイトを活用したライブ中継を取り入れた。また、3年からはコロナ禍で演奏機会が減っていた陸上自衛隊

音翔会 感動の歌声響く 陸上自衛隊と共に壮大に

第9音楽隊（青森市）との共演が始まり、壮大な舞台を披露してきた。

26回目の今年には「infinity」がテーマ。プログラムは3部構成で、第1部では学年合唱を行った。1年生の「風は今」（横山潤子作曲）で幕開けた。後、2年生は「あさがお」（山崎明子作曲・作詞）、3年生

は「組曲『海の詩』より『海の匂い』」（廣瀬重平作曲）をそれぞれ披露。時に力強く、時に優しく歌い上げ、作品の世界観を表現した。

第2部の同音楽隊による演奏会に続き、第3部では全校生徒と音楽隊員が石井敬作曲「合唱と吹奏楽のための楽曲『大いなる秋田』」で共演。第3楽章「躍進」（秋田県民歌）、第4楽章「大いなる秋田」（県民の歌）を迫力たっぷりに歌い、保護者や地域住民の感動を誘った。